

平成28年度
予算額

一般会計 254億円
特別会計 187億7,800万円
合計 441億7,800万円

平成28年度当初予算案

一般会計254億円、前年度比3.5%の増加、対話による市民の視点に立った事業展開で、笑顔のまち牛久へ！

■国では

政府は、昨年、「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」を目的とした「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」を閣議決定し、国の総合戦略に盛り込まれた政策パッケージをより一層充実・強化するため、平成27年度補正予算による「地方創生加速化交付金」、あるいは新年度における新型交付金（地方創生推進交付金）を打ち出し、さらなる「地方創生の深化」に取り組むとしています。

■牛久市では

牛久市では、策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、平成28年度を地方創生に向けた具体的施策の推進元年として、これ

■予算の執行にあたって

消費税引き上げを次年度に控え、今後、行政事務経費のさらなる増加が想定される中で、対話による市民の視点に立った施策を事業推進の中心に据え、これまで以上に予算執行段階での厳しい精査と効率的、かつ計画的な事業展開を行います。

■牛久市各会計予算

(単位：百万円、%)

会計名	平成28年度		平成27年度		現計 予算額	比較			
	当初 予算額	構成比 (%)	当初 予算額	構成比 (%)		平成28年度当初対 平成27年度当初		平成28年度当初対 平成27年度現計	
						増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
一般会計	25,400	57.5	24,550	57.9	26,893	850	3.5	△1,493	△5.6
国民健康保険事業	10,046	22.7	9,640	22.7	9,871	406	4.2	175	1.8
公共下水道事業	2,530	5.7	2,380	5.6	2,493	150	6.3	37	1.5
青果市場事業	20	0.1	24	0.1	26	△4	△16.7	△6	△23.1
介護保険事業	4,827	10.9	4,577	10.8	5,093	250	5.5	△266	△5.2
工業用地造成事業	10	0.0	10	0.0	10	0	0.0	0	0.0
後期高齢者医療事業	1,345	3.1	1,248	2.9	1,261	97	7.8	84	6.7
特別会計合計	18,778	42.5	17,879	42.1	18,754	899	5.0	24	0.1
合計	44,178	100.0	42,429	100.0	45,647	1,749	4.1	△1,469	△3.2

※平成27年度現計予算額については、12月補正後の数値としています。

■特別会計 主な増減理由 ※()内は前年度当初比。

国民健康保険事業特別会計 100億4,600万円(+4.2%)…保険給付費の増加
 公共下水道事業特別会計 25億3,000万円(+6.3%)…柏田排水区の雨水管渠布設工事など
 青果市場事業特別会計 2,000万円(△16.7%)…青果市場に係る人件費減
 介護保険事業特別会計 48億2,700万円(+5.5%)…介護サービス給付費の増加
 工業用地造成事業特別会計 1,000万円(前年度と同額)…企業誘致に伴う迅速な対応
 後期高齢者医療事業特別会計 13億4,500万円(+7.8%)…保険給付費の増加

平成28年度 予算案

問 行政経営課
☎内線3301

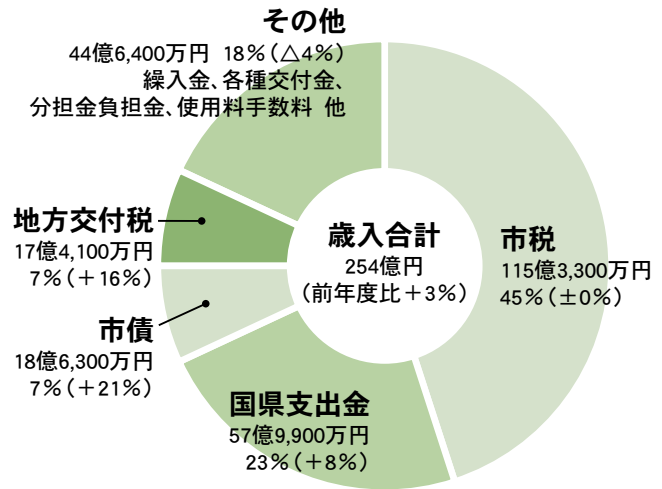
■一般会計の状況 ※円グラフ中()内は前年度比。

平成28年度一般会計歳入予算

市政運営の根幹を担う市税については、新築住宅の増や大規模工場増築による固定資産税・都市計画税の増収と、法改正による法人税の地方分率引き下げに伴う市民税の減収により、対前年度比微増の3,600万円の増額となりました。

また、畜産競争力強化対策整備事業費補助金や二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の増等による国県支出金が対前年度比8%、約4億4,700万円の増加。市債についても、二酸化炭素排出抑制対策事業債の増等により対前年度比21%、3億2,100万円の増加となりました。

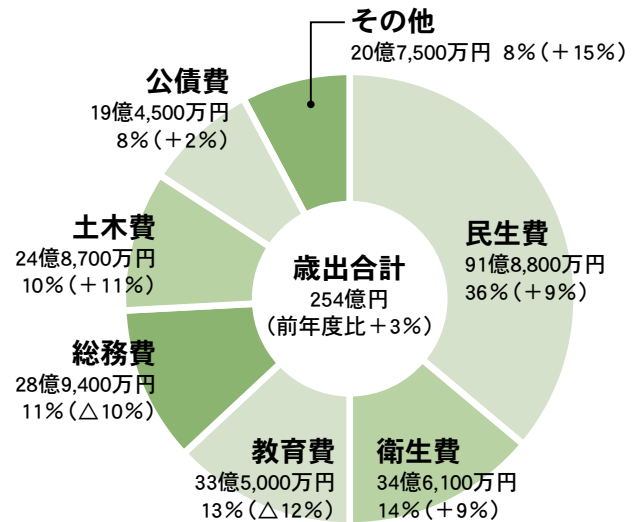
地方交付税については、前年度から人口減少等特別対策事業費が新設されたことによる特殊財政需要額の増等により、対前年度比16%、2億3,500万円の増加となりました。



平成28年度一般会計目的別歳出予算

目的別歳出予算の内訳を見ると、全体の3分の1以上を占める民生費が、国民健康保険事業特別会計繰出金や民間保育園運営支援などの扶助費の増により対前年度比9%、約7億4,300万円の増加、衛生費が二酸化炭素排出抑制対策補助金事業の増等により対前年度比9%、2億9,600万円の増加、土木費が下町緑地整備やひたち野うしく駅自由通路天井耐震の増等により対前年度比11%、2億5,200万円の増加となりました。

一方、教育費がひたち野うしく小学校校舎増築事業や運動公園野球場改造事業の完了等により対前年度比12%、4億3,800万円の減少になったほか、総務費が職員退職手当基金積立金の減等により対前年度比10%、3億500万円の減少となっています。

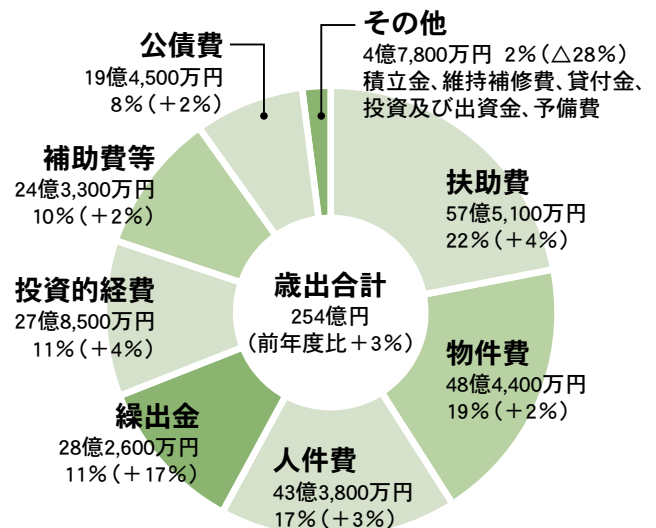


平成28年度一般会計性質別歳出予算

財政構造を分析するために、一般会計の歳出をその経済的性質を基準として分類したものが性質別予算です。

年々増加する社会保障関係経費について、前年度までは一部補正予算で対応していた国民健康保険事業における給付費を当初予算に計上したことにより、国民健康保険事業特別会計繰出金等が増額となり、繰出金が対前年度比17%、4億400万円の増加、加えて扶助費については民間保育園運営支援の増等により対前年度比4%、2億2,000万円の増加となっています。

また、職員年齢構成の偏りを是正していくため若年層を意識した常勤職員の採用を行うほか、人件費については地域手当の引き上げや非常勤職員報酬の増等により対前年度比3%、1億3,800万円増加となっています。



平成28年度重要施策

医療福祉費支給制度(市単独)により医療費を助成する

1億1,155万5千円 担当/保健福祉部
医療福祉費支給制度(マル福)の対象者を、平成28年10月から高校生まで拡充します。現在、県の助成の対象外となる医療費についても、市独自の助成により中学生まで対象としています。さらに高校生まで拡充することで、医療費の負担軽減を図り、子育て環境整備を推進します。



保健センターのトイレを改修する

2,359万1千円 担当/保健福祉部
健診・イベントなどで多くの方々が利用される保健センターのトイレ改修工事を実施し、快適性・利便性及び衛生面の向上に努めます。1階と2階のトイレを、2カ年にわたって改修し、和式トイレから洋式トイレへの変更、バリアフリー化等を行います。



不妊症及び不育症の治療費を助成する

485万円 担当/保健福祉部
不妊症及び不育症の治療費に対し、助成を行います。【対象者】不妊症：県不妊治療費助成事業対象者に助成。(1回5万円を限度とし、通算39歳まで6回、40～42歳3回)、不育症：保険外検査費用等を助成。(年度1回5万円を限度)

行政区集会施設の整備や管理に対する助成をする

2,053万7千円 担当/市民部
地域コミュニティ活動の拠点となる集会施設の整備・管理にかかる経費の相応分の助成をすることで、行政区の負担軽減と施設の整備を促進し、円滑なコミュニティ活動の推進と充実を図ります。今年度は主なものとして、牛久駅西ニュータウン区民会館の新築や各行政区集会所の修理補助金が予算計上されています。



防犯灯を新設する

869万4千円 担当/市民部

市内にある防犯灯については、行政区防犯灯を牛久市の管理とし、平成26年度に全ての蛍光灯型の防犯灯を、長寿命で消費電力の少ないLED型に交換しました。今年度も行政区や市内小中学校と連携し、設置要望箇所や通学路等を重点に防犯灯の新設を行っていきます。



防犯カメラを設置する

249万5千円 担当/市民部
これまで学校や公園、駅など公共的な施設を中心に防犯カメラ設置を進めてきましたが、地域防犯力を強化するため、市内の主要交差点や防犯効果の高い場所を警察等と協議しながら重点地域として選定し、カメラ設置を進めます。今年度は試験的に重点地域1カ所にカメラを設置し、災害時の活用も含め効果を検証します。

ふるさと寄附に対し特産品を返礼する

1,683万円 担当/総務部・経済部
牛久市にふるさと寄附(ふるさと納税)をされた方に対し、平成27年度より返礼品として牛久市の農産品や商工品などの特産品を贈り、市の魅力ある特産品をPRしています。平成28年度は、農産品・商工品等の特産品購入費や送料等について、平成27年度の実績を踏まえ増額計上しています。



牛久市のシティプロモーションを行う

1,346万9千円 担当/市長公室
市民と協力しながら、牛久市の魅力を市内外へ戦略的・継続的にアピールし、移住・定住の促進を図ります。平成28年度は、牛久市のPR動画・ガイド冊子作成等のシティプロモーション業務や牛久市公式キャラクター「ラーシク」のグッズ作成などへの経費を計上しています。

コミュニティFMにより行政情報を発信する

2,517万9千円 担当/市民部
平成27年度より「FMうしくうれしく放送」を開始し、牛久市の地域情報の発信やイベント中継等を行っています。災害時には緊急情報の発信手段としても活用されます。

交通安全施設を新設する

444万5千円
交通安全施設を維持管理する
856万3千円

担当/市民部
カーブミラーや路面標示等交通安全施設を設置し、交通安全対策を行っていくとともに、老朽化したカーブミラーや警戒標識の修繕や薄くなってしまった路面標示の塗直し等を実施します。

通学路の安全確保のため市道を改良舗装する

6,280万円

担当/建設部

市道22号線のぶどう園踏切側から国道6号線との交差点への右折レーン整備、小坂町地内の市道56号線の整備及び、下根町地内の市道52号線の整備となります。平成28年度は、市道22号線は実施設計と用地取得、市道52号線は改良舗装工事、市道56号線は実施設計と測量及び地質調査を実施します。



旧まちづくり交付金事業で西部地区の雨水排水施設を整備する

1億7,510万円

担当/建設部

下町排水区の雨水管整備に必要な流末の調整池を整備します。平成28年度は、調整池整備工事と用地取得を実施します。

田宮西近隣公園を整備する

3,300万円

担当/建設部

田宮地区の雨水対策と豊かな自然の保全のため、田宮西近隣公園を整備します。平成28年度は公園整備工事と用地取得を実施します。

駅周辺環境を適正に管理する

8,838万円

担当/建設部

住みやすく快適・安全に利用するために駅周辺の環境を適正に管理します。平成28年度においては、ひたち野うしく駅自由通路の天井耐震対策を実施します。

市民とともに中央地区のまちづくりを実践する

1億5,600万8千円

担当/建設部

まちの活力づくりの一環として、安全ですべての人に利用しやすい牛久駅東口の再整備をすすめるとともに、けやき通りやシャトーカミヤと連携した周遊空間を整備します。平成28年度においては、けやき通りの整備工事を実施します。

清掃工場の延命化を図る

1億7,473万4千円

担当/環境部

老朽化した清掃工場の延命化・長寿命化を図るため、国の補助金を活用しながら、計画的に基幹的設備の改良を行います。平成28年度は5カ年継続事業の2年目であり、給じん装置や二次押込送風機の改修や、場内建築照明のLED化等を予定しています。

牛久市商工会の運営を助成する

1,516万円

担当/経済部

牛久市商工会の運営に対し助成を行います。平成28年度は、各部会事業や商工会だより発行への助成に加え、中小企業の経営改善・発展を支援する経営改善普及事業への助成を行います。

市道23号線(北側延伸第二工区)を改良舗装する

1億3,537万3千円

担当/建設部

市道23号線の計画北端となる県道田宮中柏田線から南への整備となります。平成28年度は家屋・工作物等の補償費算定業務と用地取得及び家屋・工作物等の補償を実施します。

市道8号線を改良舗装する

5,860万円

担当/建設部

国道408号線と県道土浦龍ヶ崎線をつなぐ市道8号線の整備となります。平成28年度は、改良舗装工事、電柱補償を実施します。

市道23号線(北側延伸分)を改良舗装する

9,300万円

担当/建設部

現在開通している市道23号線の北側、青果市場脇から北への整備となります。平成28年度は改良舗装工事を実施します。

市道23号線(南側延伸分)を改良舗装する

2,100万円

担当/建設部

現在開通している市道23号線の南側、牛久小学校南の交差点から南への整備となります。平成28年度は改良舗装工事を実施します。

子育て世代包括支援センターを設置し利用者支援事業を実施する

306万6千円

担当/保健福祉部

妊娠期から子育て期にわたって切れ目ない支援を行うため、保健センター内に「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠・出産・育児に関する様々な相談に保健師が対応します。また、産後に支援が必要な方にケアを提供する「産後ケア事業」を開始します。

地球温暖化対策を推進する

329万円

担当/環境部

地球温暖化の原因である温室効果ガスの削減を図り、低炭素社会づくりによる環境保全を推進するため、平成28年度より住宅への環境配慮型機器の購入・設置に対し、補助金を交付します。

バイオマスタウン構想を運用する

3,711万円

担当/環境部

廃食用油や伐採木・建築端材などを活用したバイオディーゼル燃料(BDF)や木質ペレット燃料の製造・流通をとおしてエネルギーの地産地消を図り、地域循環型社会(バイオマスタウン)を形成します。平成28年度においては、BDF・木質ペレット燃料の製造業務委託及び製造に要する経費(原材料、各製造施設運転経費)を予算計上しています。

CO2排出抑制対策補助金を活用してバイオマス産業都市を構築する

8億7,890万4千円

担当/環境部

平成26年度より、補助金を活用した公共施設へ低炭素地域づくりに寄与する設備導入や施設改修等を行い、二酸化炭素排出抑制対策を推進しています。最終年度である平成28年度は、市役所本庁舎及び中央図書館への木質ペレット炊き冷温水機を含めた空調更新を実施し、うしくあみ斎場でも同じく実施する空調更新に対し、国からの補助金分の負担金を計上しています。



国民体育大会の開催を準備する

1,366万1千円 担当/教育委員会
老朽化した体育館の屋根改修、体育館内及び屋外トイレの改修等に取り組み、平成31年開催予定の茨城国体開催に向けた施設整備を進めます。



牛久運動公園体育館(左)・屋外トイレ(右)

放課後子ども教室を運営する

1,409万6千円 担当/教育委員会
うしく放課後カッパ塾を運営し、小学4~6年生の児童、及び中学1~3年生の希望者に対し、基礎学力の向上や、学習習慣の定着を図るための学習支援を行います。



放課後カッパ塾の様子

土曜の学び場を運営する

835万7千円 担当/教育委員会
土曜カッパ塾を運営し、小学校1~6年生を対象に、英語や国語等の学習活動や音楽、料理教室、郷土かるたなど様々な体験、交流活動を行うことにより、地域のつながり・絆を深めるとともに、地域教育力の向上を図ります。

【介護特会】**認知症初期集中支援事業を実施する**

38万3千円

認知症地域支援・ケア向上事業を実施する

60万9千円

担当/保健福祉部

認知症に早期から対応できる体制づくりとして、認知症サポート医、専門職2名の計3名からなる認知症初期集中支援チームを立ち上げ、支援を行う。また認知症カフェ(オレンジカフェ)の設立や多職種連携研修を行うなど認知症の方への支援体制を整えていきます。

下根中学校仮設校舎を建設する

2億1,517万4千円 担当/教育委員会
生徒数増加が見込まれるひたち野うしく地区への新中学校建設にあたり、完成までの期間における、下根中学校の生徒増加に対応するため、仮設校舎を建設します。



下根中学校

牛久第一中学校体育館を改築する

3,373万4千円 担当/教育委員会
昭和39年度に建築し、老朽化した牛久第一中学校体育館改築の為の実設計に取り組みます。また、併せて現在は使用していない同校のプールの解体を行い、校庭のスペースの確保を行います。

人材バンクを学校教育に活用する

224万円 担当/教育委員会
学校、幼稚園の教育活動に必要な人材を的確に把握し、地域人材を活用することを通して、児童生徒が専門的な教育を受ける機会を増やすとともに、学校と地域との連携を図ります。

少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育を推進する

451万4千円 担当/教育委員会
東部地区に位置する、奥野小学校・牛久第二中学校において、小規模校であるメリットを最大限に活用するとともに、地域との連携を深めた教育を推進します。小学校、中学校、さらには土曜カッパ塾との系統的な英語教育に取り組むとともに、国連のユネスコスクールを目指していきます。また、小規模特認校制度の導入を検討していきます。



奥野小学校のイングリッシュルーム

未使用の木造市営住宅を解体撤去する

310万円 担当/保健福祉部
居住者が退去した後、未使用となっている木造市営住宅7棟の解体撤去工事を予定しています。今後も計画的に解体撤去を実施し、適正な維持管理に努めます。

消防団を運営する

6,812万円 担当/市民部
効果的な訓練を実施し、災害に対応できる人材を育成するとともに消防団組織の活性化と団員の安全強化を図ります。また消防団活動に必要な機材等を充実させるなど消防団の健全な運営を行います。平成28年度は牛久市役所消防隊を結成し機能別団員と位置づけ、初動対応の確保など更なる消防団活動の充実を図ります。



牛久市消防団訓練風景

小学校施設を改修する

1,253万9千円

中学校施設を改修する

911万円

担当/教育委員会

児童、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、市内全ての小中学校において、消防施設等の改修を重点的に取り組みます。

小学校のパソコンを管理する

1,493万1千円 担当/教育委員会
全ての小学校に電子黒板、デジタル教科書を導入し、教育の情報化に取り組みます。電子黒板を活用した授業では、今まで以上に児童が考える場面を作る授業の展開や、子どもの主体的な活動を促すような授業展開を可能にします。

